

- 広島県立広島北特別支援学校の第 52 回博報賞・文部科学大臣賞の受賞について、御説明いたします。
- この度、広島北特別支援学校が公益財団法人博報堂教育財団主催の第 52 回「博報賞」特別支援教育領域において、博報賞を受賞いたしました。
- また、博報賞受賞者のうち、特に優れた活動に対して授与される文部科学大臣賞を併せて受賞しております。同賞を受賞した学校は、同校を含めまして、全国で 3 校ということになっております。
- 博報賞は、子供たちの学習場面・生活場面において「教育実践の活性化」という観点で優れた活動を表彰しているものです。
- 「国語・日本語・ことばの育成に関する教育実践」と「特別な配慮や多様なニーズのある子供のコミュニケーション活動を支援する教育実践」など、6 つの活動領域を対象としています。
- 広島北特別支援学校におきましては、「職業コース」の生徒を中心に、広島県立加計高等学校芸北分校生徒と、地域の特産品である「芸北リンゴ」をかけはしとして、平成 25 年度から交流及び共同学習を継続して実践しています。具体的な取組内容、活動としては、例えば、広島北特別支援学校生徒が、加計高等学校芸北分校が栽培する芸北リンゴの袋掛け作業や収穫に参加したり、芸北リンゴや芸北リンゴを使ったパンなどを共同販売するなどしております。
- 両校による交流及び共同学習は、それぞれの生徒の意欲や自信、将来への夢や希望を向上させるだけでなく、互いのことをお互い知って、その良さから学んだことを自校の活動や自らの態度に主体的に生かしていくという、互いに高め合う活動となっております。
- この度は、こうした同校の取組が、インクルーシブ教育の理念に則った優れた取組であるということが評価されまして、博報賞及び最優秀賞に当たる文部科学大臣賞の受賞となりました。

- また、県内の学校においては、北広島町立芸北中学校の「芸北の宝で地域おこし～茅プロジェクト」ですとか、府中町立府中小学校の「コミュニティ・スクールで取り組む『図書館で会いましょうプロジェクト』」が博報賞を受賞されています。

- 広島県教育委員会といたしましては、今後も、広島北特別支援学校の取組を始めとした優れた学校の取組を応援してまいりたいと考えております。

- 説明は以上です。